

第5学年 道徳科学習指導案

第5学年1組 19名
指導者 大栗真由美

1 主題名 けんきよな心で

B-(11)	自分の意見や考えを相手に伝えとともに、謙虚な心を持ち、広い心で相互理解、寛容 分と異なる意見や立場を尊重すること。
--------	---

2 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

人の考えや意見は多様であり、相互に認め合い理解しながら高め合う関係を築くことが豊かな社会をつくる原動力になる。「自分も過ちを犯すことがある」と自分に謙虚であるからこそ、他人に寛容になることができる。しかし、私たちは自分の立場を守るため、つい他人の失敗や過ちを一方向的に非難したり、自分と異なる意見や立場を受け入れようとしなかったりするなど、自己本位に陥りやすい弱さをもっている。自分自身が至らなさをもっていることなどを考え自分を謙虚に見て、他人の過ちを許す態度や相手から学ぶような広い心をもつことが大切である。相手の立場に立って考えることによってよりよい人間関係がつけられることが分かり、だれに対しても謙虚な心で接していこうとする心情を育てたいと考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、明るく元気で、男女の仲がよい。休み時間に男女関係なく誘い合って遊ぶ姿も見られる。しかし遊びの中で勝敗にこだわって相手の気持ちを考えずに行動してしまったり、傷つける言葉を言ってしまったりする児童もいる。また、日常生活の中で友達と関わる時に自分の都合だけで動き、自分の思い通りにならないと相手に批判的になる自己本位な態度からトラブルになることも多い。相手の過ちに対して、自分にも同様のことがあることとして、謙虚な心、広い心で受け止め適切に対処できるようになってほしい。

(3) 教材について

(教材名「約束」出典：光文書院)

陽菜と結衣は図書館で一緒に勉強をする約束をしていたが、当日、結衣のおばあさんが病院へ運ばれ、図書館へ行くことができず、連絡をすることもできなかった。結衣の事情を知らない陽菜は、結衣が約束を破ったのだと、グループワークに結衣のことを書き込んでしまう。

謙虚な心をもてずトラブルになってしまった状況と、謙虚な心で接し仲直りができた行動を比較して、よりよい人間関係をつくるために大切なことを考えることができる教材である。

(4) 語り合い・深め合う学びのための工夫

導入として、子どもたちのアンケートを活用することで、めあてに向かうことができる。今子どもたちが友達とうまくいくときやトラブルになるときには、どんな状況や行動があるかクラゲチャートで表す。うまくいかないときがあることを想起し、「よりよい人間関係をつくるにはどうすればよいだろう」という疑問に対して、子どもたちが必要感をもって考えることができるようにする。第三者の立場で「どうして仲直りができたか」を話し合うことで、二人のそれぞれの行動について多面的・多角的に見られるようにする。よりよい人間関係をつくるために何が大切かを考え、うまくいくためには謙虚な心が必要であることが視覚的に分かる板書にする。また、謙虚ポイントに自分たちがハートカードを貼ることで、問題を自分事として考え、全員が参加できるようにする。さらにそこで、「どうしてうまくいったのか」を問い、相手の立場に立つことが謙虚な心に必要であると気づかせ、ねらいとする価値にせまる。

3 本時の学習

(1) ねらい

相手の立場に立って考えることによって、よりよい人間関係がつけられることが分かり、だれに対しても謙虚な心で接していこうとする心情を育てる。

(2) 展開

過程	学習活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点 ☆評価
導入	1 めあてをつかむ。	○アンケートの結果を見ましょう。 友達と仲良くできた うまくいかなかった ・すぐに謝る。 ・自分勝手なことをした。 ・何でも話せる。 ・素直に謝れなかった。	○うまくいかない時もあることを確認し、どうすればよいかというめあてにつなげる。
展開	2 「約束」を読んで、うまくいかない時と、仲直りできた時の違いについて考える。 (1) 陽菜と結衣の二人の関係を知り、どうしてトラブルになったのか考える。 (2) どうして仲直りができたかについて考える。 (3) よりよい人間関係をつくるために必要な「謙虚な心」について考える。	よりよい人間関係をつくるにはどうすればよいだろう。 ○二人はどんな友達だったのだろう。 ・仲がよい。 ・いっしょに図書館で宿題をしている。 ○どうしてトラブルになったのだろう。 ・陽菜がグループトークに書き込んだから。 ・陽菜が話も聞かなかったから。 ・結衣が連絡もせず約束をやぶったから。 ◎仲直りができたのはどうしてだろう。 ・陽菜が事実を知ってすぐに謝ったから。 ・陽菜が相手のことを考えたから。 ・自分のよくない行動に気付いたから。 ・結衣が「もういいよ」と許したから。 ○よりよい人間関係をつくるポイントになったと思うところにハートカードを貼ろう。 ○「謙虚な心」で接するために大切なことは何だろう。 ・相手の立場に立って考える。 ・自分だったらと考える ・相手の気持ちや状況を考える。	○もともとは仲がよかったことを確認する。 ○トラブルになった時の二人の条件を確認する。 ○気持ちを心のものさしで表し、可視化する。 ○うまくいった(仲直りができた)時の二人の様子に着目する時間をとる。 ○どうしてうまくいったのかを問い、めあてにつなげられるようにする。 ○よりよい人間関係をつくるポイントにハートカードを貼り、謙虚な心を可視化する。 ☆ア ○よりよい人間関係をつくるためには謙虚な心が大切なことを確認し、「謙虚な心」で接するために大切なことを板書にまとめる。
終末	3 学習を振り返る。	○学んだことをノートに書きましょう。 ・よりよい人間関係をつくるためには、相手の立場に立って考えるのが大切だと分かった。 ・これから相手の気持ちを考えて行動したい。	○自己評価シートを使って振り返ることができるようにする。 ☆イ ○実際の行動を紹介し、今後には生かせるようにする。

(3) 評価

☆ア 相手の立場に立って考えることによって、よりよい人間関係がつけられることが分かったか。 (道徳ノート・発言)

☆イ だれに対しても謙虚な心で接していく意欲を高めることができたか。 (道徳ノート)